

平成 25 年度 活動報告

学生環境推進委員会

日本工業大学

S tudent

E nvironmental

P romotion

C ommittee

学生環境推進委員会

団体概要

日本工業大学では先進して平成13年に全学で国際標準規格「ISO14001」を取得しました。以降、“学生の環境活動”の役割を担うために発足したのが、学生環境推進委員会です。

当委員会では、

1. 学生に環境に興味を持ってもらう。
2. 学生に環境に関しての行動してもらおう場を「つくる」。
3. 学校から町、町から学校への活性化。
4. 学生の学生による環境マネジメントの推進。

をモットーに活動しています。

学内では、学生が率先してリサイクルや清掃、エコキャップなど環境活動に取り組むことで他の一般学生に意識を啓発させることや、学校と連携して内部監査に参加するなど幅広く活動しています。

活動の幅は学内だけにとどまらず、学外でも町内の清掃やお祭りなど町のイベントに参加し、コミュニティの輪を広げています。また、私たち自身が勉強する目的で「環境関連のセミナー」や「他大学との交流」にも積極的に参加しています。

今年はメンバーも過去最高数となる70人を超えました。これからさらなる活動の展開やレベルアップをしていきます。



活動内容

リサイクルショップ



リサイクルショップとは卒業が決まった一人暮らしの先輩方から家具・家電を無料で引き取り、回収したものを役員でクリーニングしてから新入生に無料で配布を行っています。卒業生は本来なら粗大ゴミとして出す不要な家具・家電などを無料で処分でき、新入生は新生活を始めるにあたって無料で家具・家電が揃えられる、ということで学生たちからも好評を頂いている企画です。

三大学交流会



三大学交流会は、日本工業大学「学生環境推進委員会」、獨協大学「環境・国際団体DECO」と跡見学園女子大学「エコキャンパス研究会」の3つの環境団体で毎年行っている交流会です。交流会ではそれぞれの団体の活動を紹介しあい、環境に対する知識や興味を深めています。また、会場は毎年変わり今年、日本工業大学で行われた際には、ワークショップや本学の誇る太陽光発電設備の見学などを通して環境団体に所属する学生同士の良い交流の場になりました。

森づくり事業



埼玉県農林部森づくり課主催の江戸川強化堤防の森づくり事業に参加・協力しました。今年の8月には、江戸川河川敷の草刈りを行いました。普段の活動では、宮代町の人以外の方々との交流が少ないのでこういった活動で活動を広げていけたらと考えています。今後とも森づくりを継続して埼玉県の方々と協力して活動を行っていきます。

内部環境監査員講習会



内部環境監査員講習会は、日本工業大学が取得しているISO14001を監査するための資格を取得する講習会です。内部監査員資格とは、組織がISOの要求事項に沿って作ったマニュアルがちゃんと要求事項を守っているか、つくったマニュアルが実施されているか、そしてその成果が出ているか、監査を行うための資格です。学生環境推進委員会では、夏休み期間中に講習会を開き資格取得を行っており、役員全員26名が資格を取得しています。



宮代子ども大学

宮代町の児童が環境に対して更なる意識向上を図ることを目的とし、埼玉県宮代町在住の小学生(4～6年生)40人を対象に自転車発電や、ペットボトルや紙コップの風車の製作など再生可能エネルギー発電の体験学習を行いました。当委員会では今年が初の試みでしたが、子供たちが楽しんで学んでいた姿を見ることができました。

竹アート



竹アートは宮代町が竹林保全のために行っている行事です。当委員会も、町民の方々との交流のために竹アートの製作とイベント行事の手伝いとして参加しています。竹アートでは宮代町の方々と協同で切り出した竹で作品を制作します。制作した作品は畑の中などに展示されます。展示後は再度宮代町の方と協力し、作品の解体と処分を行います。当委員会は今年、ベンチを制作しました。

若杉祭



若杉祭は日本工業大学の大学祭です。この若杉祭では、部活動や委員会、サークルに所属している人や、研究室に所属している人によって屋台やブースが出展されます。当委員会では毎年、教室展示とステージ企画を行っています。教室展示では活動報告を行っており、多くの人に活動を知ってもらう機会となっています。

町内清掃



当委員会が中心となり行っている宮代町内の清掃活動です。清掃場所は本学のある、埼玉県南埼玉郡宮代町の本学周辺です。本委員会はもちろんのこと、有志が集まって下さる宮代町の方々や本学の自治会の方々と一緒に行っており、毎回7～80人近くの方々が参加をさせていただきます。町内清掃を通して、普段は気づかない道路にあるごみの認知や、町民の方々との交流をすることもできます。

エコキャップ回収活動



エコキャップ回収活動は、学内の複数個所に設置しているキャップ専用収集箱にペットボトルのキャップを入れることで、学生が気軽に環境意識やリサイクル意識を高めることができる活動です。当委員会では、月に1回のペースで学内のキャップ回収をし、近くの企業に持っていくことで発展途上国の子供たちを助けるためのワクチンに変えています。平成21年から始めたこのエコキャップ回収活動ですが今では年間約1万個前後のキャップが回収できています。

タバコ清掃・定期清掃



当委員会では、毎週木曜日の昼休みの時間を利用し、学内の美化を目的として、タバコ清掃を行っています。この活動は、学内にポイ捨てされているタバコを回収し、喫煙禁止区域でタバコを吸っている学生に対して注意をして、正しい喫煙区域で喫煙するように促しています。この活動によって、学生のポイ捨てに対する意識を向上し、また完全分煙により喫煙しない学生の副流煙の吸引を抑えることができます。また、学生が学内のゴミ拾いを通しゴミの分別や、ポイ捨てされるゴミが環境に与える影響などの対して学生に興味を持ってもらうために、定期清掃という活動を行っています。この活動は、学内の団体に参加を呼び掛け、月に1回実施しています。

日本工業大学

大学概要

日本工業大学では環境に対する様々な取り組みを平成13年にISO14001を認証取得して以来、継続的に行っています。また、環境に対する様々な改善を行っており、年々学内の環境に対する取り組みの質は高くなっています。その結果、NPO法人エコ・リーグが主催している「エコ大学ランキング」では昨年度全国総合1位、平成25年度は全国総合3位と入賞し、私立大学部門では連続第1の評価を得ています。

また、東日本大震災以降は、国内大学最大級の発電量を誇る太陽光発電(523kW)や空調機・照明器具の高効率化等により、CO2の抑制等を目指し積極的な活動を行い、省エネの実績を上げています。

さらに、外部環境に対する取り組みと共に本学の学生が快適に過ごせるためのキャンパス環境に対する取り組みにも力を入れており、今では、学生一人一人がエコに対する高い意識を持つまでになりました。

他に、社会・地域との連携・協働では、エコロジー関連イベントへの参加、コンポスト・バイオマス実験施設等の環境施設見学の受け入れを行い、環境推進の重要性・必要性を外部に発信するなど、環境推進の一環として実践しています。



大学正面の様子



ソーラーチューブ

